



# あだち放課後子ども教室

## ～子どもが求める居場所づくりをめざして！～

あだち放課後子ども教室は、小学校の放課後に校庭や体育館、教室や図書室などで子どもたちが自由遊びや読書・学習活動をする教育委員会の事業です。子どもたちが安全に過ごせるよう、安全管理員(スタッフ)が活動の見守りをしています。

今回は、「子どもたちの居場所づくり」についてのお話しです。

### 【自分で選ぶ居場所】

居場所づくりに重要なことのひとつは、子どもの主体性を尊重することです。その場を本人が居場所として感じられるよう、子ども自ら決める姿勢を大切にしています。自分の頭で考え行動する主体性、当事者意識を持つことが大切なポイントです。

放課後子ども教室は、子どもが進んで「自己決定する」体験ができる環境を用意しています。

### 【大切にしたい視点】

子どもの居場所づくりでは、「居たい！」「行きたい！」「やってみたい！」の三つの視点が重要だと言われています。子どもによって、居場所に求める思いや価値は様々です。子どもの個性に寄り添った活動につながるよう、現場のスタ

ッフが知恵を絞っています。

三つの視点を満たす「居場所づくり」のイメージは、安全・安心な場所であること。遊ぶ、勉強する、ボーっとする、集まる、ひとりでいる、いつ来て、いつ帰るなど、自由に決められます。

また、集団遊びを通して生じた小さな心や身体のキズは、大きなケガや事故につながらないための体験にもなります。さらに、親と先生以外の大人と会話をしたり、異学年との交流により友達が増えるなど、大人になっても記憶に残る楽しい思い出となります。

こうした成長の機会をたくさん体験できる「あだち放課後子ども教室」への参加を心待ちにしています。

### 問い合わせ

放課後子ども教室担当

☎5813-3732

平日 午前9時～午後5時

